

【技術名】 苗箱施用剤の田植同時施用

苗箱施用剤を田植同時処理することで、散布作業が省略でき、春作業を省力・軽労化することができます！

【技術の要約】

専用アタッチメントを田植機に取り付けることで、箱施用剤を田植作業と同時に処理することが出来ます。技術の導入により、作業の効率化・省力化、均一な薬剤散布、ムダのない散布（田植える苗のみ散布）、周辺への飛散低減、作業者の負担軽減が図れます。

【技術の内容】

- 1 省力、軽労化が可能
乗用田植機での田植と同時作業となるため、省力・軽労化が可能です。
- 2 散布のムダを省いて低コストを実現
植え付ける苗だけに散布することで、ムダの無い均一な散布が可能です。
- 3 確実な防除が可能
田植え時に確実に処理できるため、初期病害虫を確実に防除することが出来ます。
- 4 環境への配慮（周辺への飛散低減）
育苗箱の縁（ふち）等に薬剤を散布しないので環境への影響を少なくでき、使用後の苗箱の後片付け作業等も楽になります。



【留意事項】

- 1 この技術は、全国農業システム化研究会において平成 17～21 年に実証調査に取り組んだものです。詳細については、下記ホームページアドレスにも掲載されていますので、ご覧ください。

http://www.jeinou.com/2009/12/post_6.html